

昔の道具移りかわり図鑑を作ろう

3年 社会

「かわってきた人々の暮らし」

利用指導・資料の活用

ねらい

○自分が興味を持った昔の道具について、使い方や工夫、その当時のくらしの様子などを本から調べることができる。

○昔の道具のうつりかわりについて本で調べ、現在の道具になるまでにどのような変化があったのかまとめることができる。

学習展開

- ① 自分の身近にある昔の道具について挙げ、昔の道具について調べを確認し、本単元の見通しをもつ。
- ② 昔の道具の本から、自分が興味をもった道具について使われていた時代と使い方について調べる。
- ③ せんとく板で実際に洗濯をし、昔の道具のメリットとデメリットを考える。
- ④ 道具が現代の姿になるまでに、どのような変遷があったのか複数の資料をもとに調べる。
- ⑤ 調べてまとめたものを互いに読みあい、学びを共有する。



昔の道具について調べた学習成果物

◆司書教諭と学校司書の関わり

- 学校司書は担任と相談して昔の道具の使い方や工夫だけでなく、いつの時代に使われていたか、どのように変化していったかがわかる資料を準備する。
- 学校司書が調べる活動をT2として支援する。
- 学校司書は市立図書館と連携して複本や自校にない資料も準備する。
- 作品成果物を学校図書館で保存し紹介する。

★指導のポイント

- ◆ わかりやすくまとめるための参考として、道具のうつりかわりの年表などを活用する。
- ◆ うつりかわりを調べるのに適した資料かどうか確認して準備する。
- ◆ それぞれがまとめたワークシートは子どもたちで読みあい、学びを共有する。

資料

「昔のくらしと道具 6 道具年表をつくろう」小峰書店

「昔の道具うつりかわり事典」小峰書店

「くらべる100年『もの』がたり」学研教育出版